

B-2 リトミック① クリスマスver.

- 「一人一人にそれぞれのフツウ」
- 自分で感じ・考え・選び・決める・行動する
- 視覚的・具体的・肯定的なコミュニケーション

取組み	①健康・生活	②運動・感覚	③認知・行動	④言語・コミュニケーション	⑤人間関係・社会性	家族支援	地域支援
開催告知 見通しを立てる	<p>★スタッフは、「巻物カレンダー」に開催予定を記入。チラシを関連付けて掲示し、口頭でも告知する。→</p> <p>■1ヶ月後、1週間後、3日後、明日といった「行動の見通し」を立てる。</p>		<p>■巻物カレンダーで開催日を確認し、■「あと何日」を言葉で他者に伝える。■去年の「リトミック・クリスマスver.」が楽しかったことを思い出し、■次の「リトミック・クリスマスver.」をイメージする。■「リトミック・クリスマスver.」への思いを言葉にして他者に伝える。■みんなの思いにも耳を傾ける。■個別の予定の確認が、「みんなと一緒に当日を楽しみに待つ」に広がることを目指す。</p>				
当日準備のためのミーティング	<p>★スタッフは、アシスタントとして準備に集まった子どもたちに「時計枠付き1日の予定表」を提示→■当日の予定を確認し、見通しを立てる。</p>		<p>■「16時開演であれば、何時何分にみんなに会場に集合してもらうのか」といった流れをイメージする。■自分の考えを言葉にしてみんなに伝える。■他者の言葉にも耳を傾ける。■みんなで相談し、調整しながら、■タイムテーブルを作成する。</p>				
準備① 選曲	<p>■スタッフが「クリスマス・ソングってどんな曲があったっけ？」と子どもたちに問いかけ、思い出してもらう。</p>		<p>■「リトミック・クリスマスver.」で歌いたい・踊りたい曲を選ぶ。■選んだ理由を考える。</p>	<p>■自分が選んだ曲を言葉にして、みんなに伝える。■その理由も伝える。■他者の意見にも耳を傾ける。■当日使う曲を5曲に絞り込むため、みんなで話し合い、調整し、決める。</p>			
準備② 打楽器を作る	<p>■クリスマスをイメージしながら、また自分たちで選んだ曲をイメージしながら、■森の素材でどんな楽器が作れるか、考える。</p>	<p>■スタッフが用意した木製・竹性の民族楽器で音を出してみる。(モデル学習) ■大きな音が苦手な子どもでも楽しめる音色・音の大きさになるよう力加減をする。</p>	<p>■①・②をふまえて、森の素材で、どんな楽器を作りたいか、考える。</p>	<p>■自分の考えを言葉や図にしてみんなにプレゼンテーションする。■他者の考えにも耳を傾ける。■当日使う楽器を3点に絞り込むため、みんなで話し合い、調整し、決める。★★★楽器材料集め・楽器作り→「支援プログラム 楽器作り」参照</p>			
準備③ 環境作り	<p>■クリスマス会のときに、どんな飾りつけをしていたかを思い出す。</p>		<p>■会場の飾りつけにどんなものを作りたいか考える。</p>	<p>■自分の考えを言葉や図にしてみんなにプレゼンテーションする。■他者の考えにも耳を傾ける。■自分が作りたい飾りを作り、壁や天井に飾り付ける。■制作の際に困ったら助けを求める。■助けを求められたら応じる。</p>			
準備④ 衣装作り	<p>■クリスマス会のときに、どんな服装をしていたかを思い出す。</p>		<p>■選んだ曲にふさわしい衣装を考える。■家にサンタクロースやトナカイの衣装があれば持ち寄ってイメージを膨らませる。</p>	<p>■自分の考えをみんなにプレゼンテーションする。■他者のプレゼンにも耳を傾ける。■それぞれが自分の衣装を決める。■古着のアレンジなど工夫して衣装を作る■制作の際に困ったら助けを求める。■助けを求められたら応じる。</p>			

準備⑤ 歌の練習			★選曲した5曲をスタッフが伴奏付きで歌う。■みんなでその演奏を聴き、情景を思い浮かべる。	■伴奏に合わせてみんなで歌う。■自分の声を聴く。■他者の声も聴く。■伴奏・お互いの声を聴きながら歌う。		
準備⑥ 楽器の練習		■作った楽器を叩き、音を出す。■大きな音が苦手な子でも楽しめる音色・音の大きさになるよう力加減をする、減音材を貼るなど、工夫する。	■スタッフの伴奏に合わせて、■情景を思い浮かべながら、■思い思いに叩いてみる。	■自分の気持ちを音で表現する。■他者の出す音にも耳を傾ける。■伴奏・自分が出す音、みんなが出す音を聴きながら、演奏する。		
準備⑦ 身体表現の練習		■スタッフの伴奏+歌に合わせて、情景を思い浮かべながら、それぞれが自由に身体を動かしてみる。■さらに、伴奏+歌+楽器に合わせて、情景を思い浮かべながら、それぞれが自由に身体を動かしてみる。		■伴奏・みんなの歌・みんなの楽器に合わせて一人ずつ、みんなの前で、曲の情景を身体表現する。■終わったら、拍手。■歌うチーム・楽器チーム・身体表現チームに分かれて演奏・身体表現する。■終わったら、互いに拍手。		
準備⑧ プログラムの作成・タイムテーブルの修正			■準備①～⑦をふまえ、スタッフとアシスタントで、当日のプログラムを作成する。■これに応じて、タイムテーブルを修正する。■自分の考えを言葉にしてみんなに伝える。■みんなの考えに耳を傾ける。■話し合い、調整しながら、結論を出す。			
準備玖 会場設営	■タイムテーブルを確認しながら、椅子や机を配置する。■楽器を使うことを考慮し、安全な距離を保つ。		■制作した飾りをどこに掲示するのか考える。■また、会場の机椅子の配置について考える。■自分の考えを言葉にしてみんなに伝える。■他者の言葉にも耳を傾ける。■みんなで相談し、調整しながら決定し、会場設営を行う。			
声掛け・呼び込み	■タイムテーブルで確認し、お客さんに入場してもらう。		■呼び込みに適した言葉を考える。■自分の考えを言葉にしてみんなに伝える。■他者の言葉にも耳を傾ける。■上手くいかなければ修正する。■みんなと相談する。■困ったら助けを求める。■助けを求められたら応じる。	■ご家族にも舞台を観ていただき、一緒に楽しむ。	■近隣に舞台のお知らせを配布し、来場していただき、一緒に楽しむ。	
舞台本番	■プログラムに準じて進行する。■それぞれの役割を果たす。	■伴奏・歌・楽器・身体表現を楽しむ。	■司会進行、楽器・衣装の管理、タイムキーパーなど裏方的な役割も子どもたちが担う。★スタッフがサポートする。■演じる側、観る側、に分かれた場になるが、観る側も巻き込んで一緒に楽しめる舞台となるよう配慮する。			
片付け		■机や椅子が元々どこにあったかを思い出し、■みんなで協力しながら。■安全に移動させ、■元の位置に戻す。■片付けが終わったらみんなで「おつかれさまでした」「有難うございました。」という。				
振り返り			■スタッフとアシスタントで集まる。■準備～本番を思い出し、■感じたこと、困ったこと、改善点などを言葉にしてみんなに伝える。■他者の発言にも耳を傾ける。■みんなの考えを記録し、次回に生かす。			